



7月豪雨

建通新聞

岡山

早急に補正予算成立へ

足立敏之議員ら
倉敷市真備町訪問

平成30年7月豪雨で甚大な被害を受けた倉敷市真備町を訪れた足立敏之参議院議員と小野田紀美参議院議員。決壟した堤防の応急復旧が進む末政川の工事現場やその周辺の住宅地を見て回り、「浸水だけではな

く、あの津波のよみに押し寄せる水のエネルギーが家屋を破壊していく」と被害の大きさとともにその特殊性を目の当たりにした。「地域の方々が一刻も早く安心できるように全力をつくす」と足立議員は決意を述べ、そのためには「できるだけ早く補正予算を成立させたい」と語った。

当日は、岡山県建設業協会の荒木雷太会長らも同行。「今後の本格的な復旧工事に向けて、速やかに着手できるように県などと協議をしていく」と話す。



足立敏之議員らが真備町訪問

荒木「あらゆる災害に対応」

復旧活動を再検証



地域住民が被災当日を振り返る

【1面関連】平成30年7月豪雨の被災現場を訪れた足立敏之参議院議員と小野田紀美参議院議員。足立議員は全力での支援を約束し、「予算面

や制度面で支えるのがわれわれ国會議員の役割だ」とも述べた。また、小野田議員は「慣れ親しんだ町並みの変わらぬ姿を見て心が痛む。建設業

支社の皆さまに感謝の意を表すとともに、早期の謝罪に向けてしっかりとサポートしていきたい」と心境を語った。

復旧に向けてしっかりとした心構えで取り組んでまいります」と心構えを語った。

「今回のよう

な線状降水帯による豪雨災害は、これまで想定してきており、これま

た地震や台風の被害想定を大きく逸脱してお

り、今後も同様の災害

が発生する」ことが予想される。県との防災協定に基づき当たった今回の復旧活動を再検証し、新しいタイプの災害にも対応できる態勢を整えたい」との考え方を示した。

業協会の荒木雷太会長は、「岡山県建設

が発生する」ことが予想される。県との防災協定に基づき当たった今回の復旧活動を再検証し、新しいタイプの災害にも対応できる態勢を整えたい」との考え方を示した。